**調査研究扱いでの検査費用適用について**

　1996年5月、募金を中心に誕生した農民連食品分析センターは、 これまで日本の食品衛生にかかわる分野の最前線に立って、調査研究、問題課題の摘発、データ発信などを行ってきました。

　このような活動を続けることができたのは、私たちの農や食のあるべき未来を真剣に考える多くの方々からの募金や機材による支援があったからでした。

　私たちは、いま日本には大きく分けて3つの検査施設があると考えています。一つは、国や自治体にある検査施設、もう一つは、民間企業による検査施設、3つめは私たちの様な募金で活動する検査施設です。この3つの施設はそれぞれ最終目標とするものが異なっていると思います。

　一つ目の国や自治体の検査施設は、法律や行政上の業務を達成することが目的だと言えます。2つ目の民間企業による検査施設は、検査によって利益を得ることが最終目的になるでしょう。いずれも、ベースには私たちの食品衛生や環境を守るための機能を担っている検査施設ではありますが、私たちの社会には、もう一つ、市民側の立場に立って、科学に基づいた調査や検査活動に取り組む施設の存在が欠かせないと考えています。それが3つめの施設、私たちのような施設です。市民に寄り添って、その声を聞き、化学的手法に基づき活動を活動する、施設は市民の手で支えられ、オープンな環境でデータを発信していく施設です。

　科学に基づくデータは、議論を建設的に前進させる、私たちは20年を超えるこれまでの活動の中で、それを実現、経験してきました。農民連食品分析センターは、これからも、募金で活動する唯一無二の科学分析施設として、砦の役割を果たし続けたいと考えています。

　設立の背景を踏まえ、社会への貢献度が高く、非営利であり、市民運動、研究、教育などの立場で、調査研究を目的とする検査利用には、特別な価格での対応を行っています。

　適用については、要請書に必要事項を記載し、提出をいただいた後、審査の上で決定させていただきます。正直なところ、私どもの施設の財政は決して十分ではないため、全ての要請に適用をすることはできないことをご了承ください。

一般社団法人農民連食品分析センター

年　　　月　　　日

**調査研究扱いでの検査費用適用要請書**

申請者されるあなたの区分についてお教えください

|  |  |
| --- | --- |
| 区分 | 個人　　市民グループ　　行政　　研究教育機関　その他 |
| 同意事項 | □この企画は、非営利または社会貢献を目的、研究または教育に関連する調査であることに間違いありません。□この企画が、反社会的なゴールを求めるものではありません。□この企画で、得られた結果は、社会貢献度が高いと判断ができる内容のものについては、個人情報が守られる範囲内に限り、双方の同意の上で農民連食品分析センターでも共有・公開することに同意します。 |
| 必要な提出書類 | 申請者が非営利の個人または団体、市民グループ、大学などの教育機関であることなど、その身分や存在が確認できる資料を用意してください。またこれまでの活動実績等があるようでしたら、それらがわかる試料などを参考資料としてご用意ください。 |

申請者の連絡先についてお教えください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者の情報 | フリガナ |  |
| 氏名（役職） |  |
| 連絡先 | 〒：電話番号：FAX：メールアドレス：ウェブページ： |
| 直接の担当者（上記と同様の場合は、記載不要） | フリガナ |  |
| 氏名（役職） |  |
| 連絡先 | 〒：電話番号：FAX：メールアドレス：ウェブページ： |

企画している検査内容とその目的についてお教え下さい。

|  |
| --- |
|  |

この検査によってどういった成果を目指していますか。

|  |
| --- |
|  |

企画している検査の検体数についてお教えください。

|  |  |
| --- | --- |
| 想定している検体数 |  |
| 検査試料の種類 |  |

申請をいただいてから、ご連絡をするまでお時間をいただく場合があります。

2週間ほど経っても、ご連絡がない場合は、お手数ですが、改めてお問い合わせをお願い致します。